

Ⅱ 研究の概要

- 1 学校の概要
- 2 児童の実態
- 3 図画工作科における児童の実態
- 4 研究組織
- 5 研修のあゆみ



1 学校・地域の概要

本校区は小松島市北西部に位置し、徳島市・勝浦町に隣接している。県内最大の二級河川勝浦川が流れており、南岸には田園地帯が広がる、自然豊かな地域である。小松島市の水源地があるため、学校周辺を流れる川や用水では、蛍が多く初夏に飛び交い、メダカやハグロトンボといった良好な水質を象徴する生物を多く見かける。校区には、前山古墳や新居見遺跡があることより、古くから農耕を営んできたことがうかがえる。また多くの神社が隣接しており、たたら音頭・義経伝説など豊かな文化や伝承が伝わっている。最近では世代交代が進み文化の保存にかかわってきた人の高齢化により、継承が難しくなりつつあるが、児童を温かい気持ちで見守り支援してくださっている地域の方の気持ちは変わらない。

本校は、現在児童数は127名、学級数は9学級あり、年々児童数は減少傾向にある。三世帯同居家族も多く、生活の中で高齢者にふれあう機会が多くある。教育熱心な土地柄で、学校への期待も高く、参観日等への出席率も高い。また、奉仕活動をはじめとするPTA活動も活発である。

学校教育目標「一人一人の良さを生かし、ともに伸びゆく児安の子ども～確かな学力(知)・豊かな心(徳)・健やかな体(体)」を掲げ、「あいさついっぱい まなびいっぱい かんどういっぱい」のスローガンのもとに、取り組んでいる。

今年度は、合い言葉を12色相環で表し、児童の個性の伸長、人とのつながりを象徴することとした。



2 児童の実態

本校の児童は、明るく活動的で、のびのびと学校生活を送っている。休み時間には、大人数で集まって遊ぶことを好む児童が多く、高学年の児童は、低学年の児童の面倒をよく見ている。1～6年生の児童で編成されたスマイル班での奉仕活動やふるさとオリエンテーリングの活動を通し、異学年集団での活動にも意欲的に活動することができている。そして、自分がしてもらったことを次の代に伝えていきたいという心構えができ、人のために行動しようとする心が育っている。

学習面においても、自分の思いや考えを積極的に伝えようとする児童が多い。その一方で、自分の思いを表すことに苦手意識をもっている児童もいる。失敗なく見栄えのよい結果を残すことに重きを置き、相手の意見を聞き自分の思いを深めることや、新たな考えを生み出すことについてが課題であった。

こうした実態を踏まえ、一人一人のよさが生かされ(確かな学力)、ともに伸びていく(豊かな心・健やかな体)ことのできる児童の育成を目指し、日々取り組んできている。

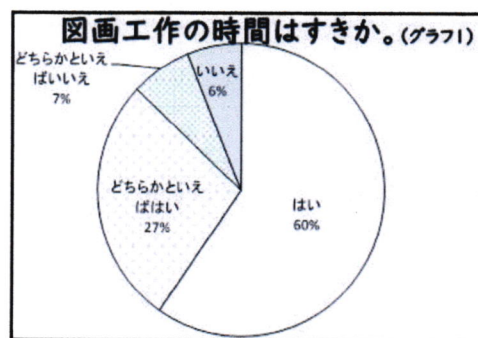
3 図画工作科における児童の実態

図画工作科の研究を進めるにあたり、令和2年度に全校児童を対象にしたアンケートを実施し、結果の考察から課題を把握し、実践の糸口となる資料として活用することとした。「図画工作科の授業は好きですか」の設問に対し、全体の87%の児童が、図画工作科の授業が好きであると回答している。(グラフ1)

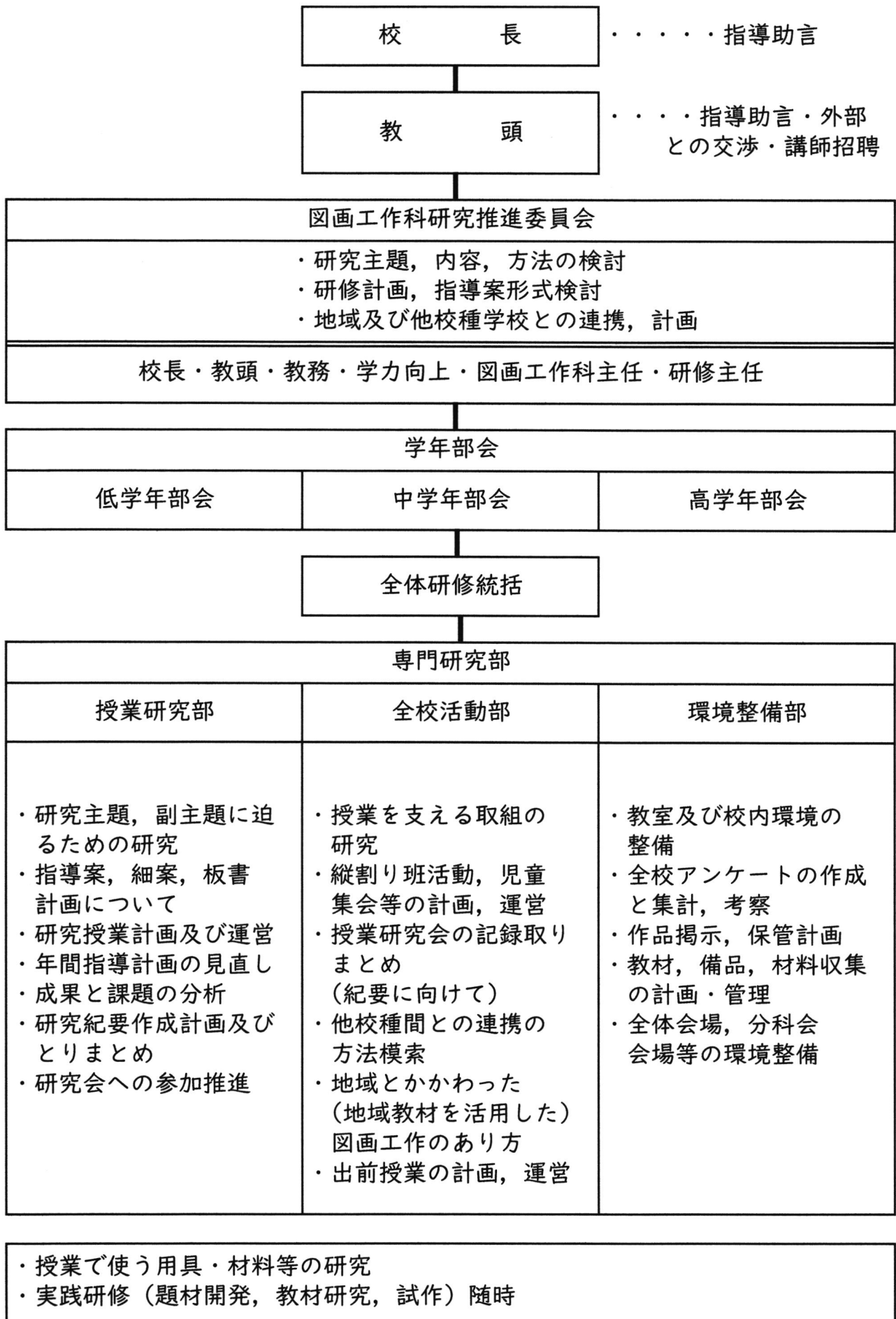
授業の中でも、自分の感性を働かせながら、納得のいくまで作品と向き合うことを通して、つくりだす喜びを味わう児童が多いように見られた。製作活動に没頭し、自分の思いや願いを形に表そうと真剣に取り組む様子も見受けられる。

しかし課題として、基礎的・基本的な造形的な資質・能力を高めていく授業づくりのための、より実践的な研究を推進する必要性を強く感じた。基礎的・基本的な資質・能力の育成するためには、自分の思いや願いを、表現する喜びにつなげるために、どのように表現するかを発想・構想する能力、イメージを作品にするために、材料や用具を選択し、表し方を工夫する知識・技能をバランスよく育成する必要がある。また、感じたことや思ったこと、考えたことなどを言葉で整理し表現する言語活動の充実を図ることも、表現する喜びを感じられるようになるための、大きな手立てとして重要であると考えた。

そこで、これまで積み重ねてきた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を生かし、身近な「ひと」「もの」「こと」と豊かにかかわり、つながり、総合に認め合いながら、つくりだす喜びを味わうことのできる児童の育成を目指し、副主題を「造形的な資質・能力を高め、表現する喜びが互いに感じられる授業づくり」とした。



4 研究組織図



5 研修のあゆみ

(令和元年度)

- 8月20日 要請訪問 講師 三木健司指導主事「図画工作科の評価と学習指導要領」
- 10月10日 第1学年研究授業
- 10月31日 第4学年研究授業
- 11月15日 第60回徳島県図画工作教育研究大会(半田小)参加 児安小5名 参加
- 11月21日 第5学年研究授業

(令和2年度)

- 5月28日 校内研修「研究主題・指導案の形式等」 講師 森裕二郎(佐那河内小)
- 6月4日 校内図画工作科研究推進委員会「研究の方向性・アンケート・年間計画等」
- 6月11日 校内研修「校内組織について」
プレ大会について①会場郡市で相談②7月まで大研なし③6月後半の会議で決定
11月に本校がする大研がプレの代わり
- 6月25日 校内研修「図画工作アンケート」内容と図工室の用具の掲示について
- 8月26日 第1回指導案検討会(1・4・5年) 15:00~16:30 児安小にて
助言者2人, 事務局8人, 役員3人 指導主事 職員で研修
- 9月3日 指導案の書式例 決定
- 9月10日 ①指導案の書き方の確認
②各部会に分かれての話し合い
・授業研究 アンケートの決定と実施日, 考察についての計画
・環境整備 作品の残し方・評価の仕方の統一化(評価カードの用意)
- 9月29日 第5学年研究授業検討会 助言者 日岡 健二(久勝小)
講師 森裕二郎(佐那河内小)
- 10月1日 アンケート検討 今学期中に実施する。
- 10月15日 プレ大会の役割確認とプレ大会までの計画の確認
- 10月29日 第2回指導案検討会(1・4年)と記録者説明会15:15~16:45 児安小にて
助言者2人, 事務局7人, 役員3人 小松島部員8人 職員で研修
- 11月5日 校内研修「図画工作アンケート」結果と考察についての共通理解
- 11月12日 第61回徳島県小学校図画工作教育研究大会(令和2年度小松島市大会) 13:45~
来賓8名 事務局5名 小松島市図画工作部員10名 一般2名
- 12月10日 校内 図画工作研究紀要原稿検討会
- 2月12日 県小学校図画工作部会主題校内検討会 16:00~
- 2月19日 県小学校図画工作部会主題研究会 15:00~
- 3月 「研修の反省と来年度への希望」アンケート

(令和3年度)

- 4月6日 校内研究推進委員会 8:30~
組織・年間計画について
- 4月15日 研修計画・図画工作科研究方針説明
- 4月23日 校内研修 主題研説明 講師 森 裕二郎先生
- 5月12日 校内研修 中学年指導検討会
- 5月20日 第3学年研究授業 助言者 森 裕二郎(佐那河内小)
- 6月10日 校内研修 県指導案検討会に向けて
- 7月5日 第6学年研究授業 助言者 日岡 健二(久勝小)
- 7月30日 校内研修 紀要の成果と課題についての検討
統一大会の進捗状況確認
- 8月2・5日 紀要読み合わせ
- 8月6日 第1回事前研究会 14:00~
事務局5名 助言者3名 提案発表者4名 授業者6名 役員4名
- 8月25日 指導案検討会 中止
- 10月13日 Zoom 配信打合せ会
事務局2名
- 10月14日 校内研修 紀要最終修正
- 11月1日 第2回事前研究会 15:00~
事務局 助言者 提案発表者 役員 児安小教職員 参加
- 11月4日 校内研修 運営計画案確認
- 11月8日 Zoomテスト配信 15:00~
事務局 児安小教職員 参加
- 11月18日 前日準備 14:00~
- 11月19日 第62回徳島県図画工作教育研究大会
来賓4名 児安小学校教職員18名
直接参加者70名 Zoom参加者83名